

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-2	蓄積車両軌跡データの効率的活用のための階層型データベースの構築	神戸大学 教授 井料 隆雅	A
<p><研究の概要></p> <p>近年蓄積が始まっている車両軌跡データの潜在価値は大きいですが、この種のデータは巨大かつ品質が不安定になりがちであり、ナイーブな方法で扱っていると早晚破綻を見る。本研究では、品質を管理し集計単位で階層化された車両軌跡データベースを構築し、その活用例を示す。</p> <p><中間評価></p> <p>データ品質改善、集計操作方法について当初の研究計画に従い順調に進んでいるとともに、研究成果についても実務での活用に向けて大いに期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">ETC 2.0 プローブデータの品質を考慮すると、適用対象（ex.経路推定）との関連でどこまでが可能になるか、ETC 2.0 データの限界と適用性に言及することが望ましい。ケーススタディを通じて、実務の内容を明確にした上で、活用を進めることが望ましい。			

※本評価結果は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第34回新道路技術会議において審議したものである。